

クンドルニュース

Kyushu United Nations Depository Library

九州国連寄託図書館



国連海洋会議 2025 UN Ocean Conference

2025 年 6 月 9－13 日、フランス ニース

海の未来を守るための転機となる国際会議、第3回国連海洋会議(UNOC3)が 2025 年6月9日から 13 日まで、フランスのニースで開催されました。

私たちの暮らしや命を支える海は、海水温の上昇、乱獲による魚類資源の減少、プラスチック汚染、サンゴ礁の白化現象など、今重大な課題に直面しています。

この海洋会議では、各国のリーダーや専門家が一堂に会し、保護区域の拡大や違法漁業対策、資金支援の拡充など、具体的な解決策が議論されました。

海洋の現状を知ろう

出典:国連広報センターHP

国連海洋会議(2025 年 6 月 9－13 日、フランス ニース) 関連資料:事実と数字

https://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/52217/



海洋の大切さ — 事実と数字

- 海洋は地球の表面の約 75%を覆い、地球の水の 97%、生息空間の 99%(体積ベース)を占める。
- 私たちが吸う酸素の約 50%は、海洋からの供給。
- 海洋には 100 万種以上の既知生物種が存在し、医薬品やバイオ燃料開発の鍵を握る未発見の資源も眠っている。
- 漁業、水産養殖、観光、海運など、1 億 5000 万人超が海洋関連の仕事に従事。
- 世界の人々が摂取する動物性たんぱく質の 15%を海が供給。後発開発途上国では 50%以上が海産物に依存。



海洋の危機 — 事実と数字

- 2024 年4月時点で、13 カ月連続で海面水温が観測史上最高を記録。
- 世界の漁業資源の持続可能性は、1974 年に比べて 62.3%(2021 年時点)にまで減少。
- 毎年 500 万～1200 万トンのプラスチックが海に流出。2040 年までに年流出量は2～3倍に増加の見通し。
- 海洋生物の 25%が依存するサンゴ礁は、高温と酸性化で大規模な死滅が進行。
- 海洋生物種の 50%以上が、2100 年までに絶滅の脅威に直面。

海は私たちに多くを与えてくれる存在である一方、いま深刻な危機に瀕しています。
未来の海を守るために、まずは“知ること”から始めてみませんか？



国連公海等生物多様性協定

正式名称 :海洋法に関する国際連合条約に基づくいずれの国の管轄にも属さない区域における海洋の生物の多様性の保全及び持続可能な利用に関する協定

人間の活動及びその影響が広範囲に拡大している背景を受けて、2023 年 6 月に採択

国連公海等生物多様性協定(BBNJ 協定)は、公海や深海底など「どの国の管轄にも属さない海域」における、生物多様性の保全と持続可能な利用をルール化した初の国際協定です。これまで抜け落ちていた重要な課題に、法的な枠組みを与えることに成功しました。

海洋遺伝資源の利用と利益配分、海洋保護区の設定、環境影響評価の実施、開発途上国への能力開発・技術移転なども明記され、気候変動や生物多様性の危機に国際的に立ち向かう協定として期待されます。協定は、締結した国数が 60 となった 120 日後に発効します。(2025 年2月6日時点 締結国数 17)

◆◇今月の注目資料◆◇

(福岡市総合図書館所蔵)



SDGs 目標 14 「海の豊かさを守ろう」

に関する本

『海は地球のたからもの』(全3巻)

1海は病気にかかっている 2海はどうして大事なの? 3海の生き物の役割

保坂 直紀/著 ゆまに書房 2019-2020年 1階子4

『海は地球のたからもの』は、小学校高学年から大人まで、海の現状がわかる全3巻のシリーズ。海の仕組みや役割、気候との関係を、豊富な写真や図版を用いてわかりやすく解説するとともに、プラスチック汚染をはじめとする人間の活動による影響や、海の未来を守るために私たちができる行動についても考えさせられる内容です。

『海洋プラスチックごみ問題の真実: マイクロプラスチックの実態と未来予測』

磯辺 篤彦/著 化学同人 2020年 1階ポ61

海洋プラスチックごみ研究の第一人者が、海に流れ込むプラスチックごみの実態と、その影響を科学的に解き明かす一冊。「マイクロプラスチック」の性質や、生物への影響、そしてそれがどのように海を移動し蓄積していくのかを丁寧に解説。日常生活で使われるプラスチックが、どのようにして深刻な環境問題へと変わっていくのかを知ること、私たちに何ができるのかを考えさせられます。

『The big book of the blue』

Yuval Zommer Thames and Hudson 2018年 児世界絵本 (英語)

水中の生物たちの様子を美しいイラストで表現。カメ、クジラ、サメ、タツノオトシゴなど種類別に紹介するページ、サンゴ礁周辺や深海底など特定の海域別に紹介するページなどテーマ別に楽しむことができます。

海の中を探検しながら、さまざまな発見ができる絵本です。



ご存知ですか? 国際デー



「世界湖沼の日」公式ホームページ:

<https://www.un.org/en/observances/world-lake-day>

国連は、2024年12月の国連総会において、8月27日を「世界湖沼の日」と宣言する決議(A/RES/79/142)を採択しました。

湖は水資源や生物多様性、気候変動の緩和、地域経済にも重要ですが、近年は過剰利用や汚染、気候変動の影響を受け深刻な問題に直面しています。この日を通じて、こうした湖の現状に目を向け、保全と持続可能な利用への国際的な関心と行動の促進が期待されています。



編集後記



「世界湖沼の日」は、滋賀県大津市で第1回世界湖沼会議が開会された1984年8月27日にちなみ制定されたそうです。

独特の生態系を有する湖沼は四季折々の景色が楽しめる観光地としても魅力的です。

びわ湖から始まった湖沼保全の取組が、世界湖沼の日を通して全世界に広がっていくことを願います。

詳細をお知りになりたい方は、ぜひ2階国際・国連カウンターにお立ち寄りください!



九州国連寄託図書館

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号 福岡市総合図書館 2階
TEL 092 (852) 0628

開館時間: 10:00~20:00

10:00~19:00 (日・休日)

* 相談業務は 19:00(日・休日 18:00)まで

休 み : 毎週月曜・毎月月末

(休日のときはその翌平日)

年末年始・図書特別整理期間